

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和元年度対象)

令和2年9月

東庄町教育委員会

I 教育委員会

1. 教育委員会の会議

(1) 定例教育委員会 12回開催

各種委員の委嘱・任命、条例・規則・要綱の制定・改廃、行事の後援・共催承認、教科書の採択、就学指導候補者の承認、教育費予算の同意、幼稚園長・社会教育指導員・家庭教育指導員・教育支援センター指導員の任命、学校医等の委嘱、要保護及び準要保護児童生徒の認定、幼稚園に関すること、教育関係施設改修状況、社会教育計画（案）並びに生涯学習・公民館・図書館主催教室、講座（案）等について審議した。

(2) 臨時教育委員会 1回開催（3月12日）

県費負担教職員の任免その他進退に関する内申を審議した。

2. 教育委員の学校訪問

教育委員は独自に毎月担当校を訪問し、必要に応じて定例教育委員会で報告、協議を行った。教育委員学校施設訪問を10月7日に実施し、こじゅりんこども園、東庄中学校の改修、修繕の必要な箇所を精査し、次年度の予算要求を審議した。

II 学校教育

1. 教育施策

- こども園や小中学校での教育を通して学んだことを豊かにしていくことができる「生きる力」の育成及び社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成を図る。
- 子どもたちが主体的に学ぶことのできる環境を整備する。
- 小学校統合にあたって「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携し、本町に根付いた特色ある学校づくりを進める。

(1) 教育内容の充実

- ① 情報化やグローバル化など、急激な社会的変化に対応するために必要な知識や技能を身に着けることのできる教育を推進する。
- ② 総合的な学習において、地域との連携を強化し、本町の良さを実感できる教育活動を推進する。
- ③ 子どもたちの「知・徳・体」の向上を図り、個性や能力を引き出していくために、アクティブ・ラーニングなどに取り組み、主体的に学ぶことのできる教育を推進する。
- ④ 地域の農産物に対する理解と関心を高め、よい食習慣や食生活の知恵を身につけるために、食育の推進に努める。
- ⑤ 障害のある児童に対し、一人ひとりに応じた指導や支援（特別支援教育）のために学習支援員を充実するとともに、障害のある児童と障害のない児童が可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を検討する。
- ⑥ 選挙年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、学校教育において、政治的中立を確保しつつ、主権者教育を推進する。
- ⑦ 小学校統合に伴い、教育は地域全体で取り組むものという意識のもと、ミニ集会や学校公開を積極的に行うなど「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携しながら地域一体となった教育の実現を図る。

(2) 教育環境の整備

- ① 適切な規模での学校教育を維持するため、小学校の統合を進める。
- ② 老朽化した学校給食センターの新センター建設を進める。
- ③ 認定こども園の設置

2. 令和元年度の重点

- (1) 千葉県教育振興基本計画をベースに教育振興を図る。

- (2) 指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける。
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力の向上を図る。
- (4) 早寝、早起き、朝ご飯、外遊びの励行により強靱な身体・体力を培う。
- (5) 幼・小、小・中の連携を強化し、交流活動をより多く取り入れる。
- (6) 地域の教育力を生かす。(地域の歴史、伝統文化、工芸、音楽、スポーツ、栽培、読み聞かせ等)
- (7) 子どもの表現力・コミュニケーション能力の一層の向上を図る。
- (8) 読書を励行し「読書好きな子ども」を育てる。
- (9) 安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成する。

3. 学校教育の振興

(1) 学校・幼稚園規模

令和元年5月1日現在

| 校(園)名 | 児童生徒数 | 住 所 | 校(園)長名 | 職員数 |
|---------------|-------|------------|--------|-----|
| こじゅりん こども園 | 62 | 笹川い4713-29 | 玉井 富三 | 9 |
| 神代小学校 | 73 | 窪野谷1661 | 宮崎 豊 | 15 |
| 笹川小学校 | 251 | 笹川い4713 | 菅谷 忠由 | 28 |
| 橘 小学校 | 84 | 今郡558 | 関口 喜代美 | 14 |
| 石出小学校 | 79 | 石出1599 | 大槻 富保 | 13 |
| 東城小学校 | 86 | 小南941 | 香取 真史 | 13 |
| 東庄中学校 | 328 | 青馬1756 | 石橋 宏克 | 28 |

(2) 教育相談

毎月、第2水曜日の13:30～16:00に実施したが、相談はなかった。

ほかに、電話等での相談は、随時受付けている。

(3) 東庄町長期欠席児童生徒対策委員会

東庄町長期欠席児童生徒対策委員会委員の異動があったため、4月25日に5人の委員の委嘱を行った。東庄町長期欠席児童生徒対策委員会を7月25日に開催し、長期欠席児童生徒の指導・助言、防止対策等について審議した。

(4) 東庄町教育支援委員会

東庄町教育支援委員の異動があったため、4月25日に3人の委員の委嘱を行った。委員会を11月22日に開催し、心身に障害を持つ児童生徒の継続的な教育支援等について審議した。

(5) 教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議

教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議を2月25日に開催し、要保護及び準要保護児童生徒の認定等について協議した。

(6) 小学校統合全体会議

町立小学校統合全体会議を7月18日、2年2月19日に開催し、各部会の協議状況・報告、校歌の最終決定を行った。

(7) 就学援助及び奨励事業

・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

| | | | |
|-----|--------|----|----------|
| 小学校 | 要保護児童 | 0人 | |
| | 準要保護児童 | 9人 | 650,371円 |
| 中学校 | 要保護生徒 | 0人 | |
| | 準要保護生徒 | 7人 | 712,560円 |

・特別支援教育就学奨励費

| | | |
|-----|----|----------|
| 小学校 | 5人 | 145,325円 |
| 中学校 | 3人 | 173,460円 |

(8) 奨学資金利子補給事業

31件 対象額 36,224,047円 利子補給額 555,487円

(9) 奨学基金事業

奨学生 1人 奨学金 500,000円

(10) 補助金の交付

東庄町教育研究協議会事業 400,000円

東庄中学校生徒通学用ヘルメット購入事業 128,726円

東庄中学校社会体験学習事業 135,000円

地域学校安全推進事業 100,000円

町立小学校閉校事業 5,000,000円

(11) 学校給食費助成事業

給食費助成事業（小学校） 23,691,790円

給食費助成事業（中学校） 15,504,788円

給食費助成事業（幼稚園） 2,890,300円

(12) 主な工事関係契約

| 工事名 | 工事場所 | 契約金額 (円) |
|-----------------------------------|-------|--------------------------------|
| 南校舎空調設置工事 (平成30年度から繰越) | 東庄小学校 | 契約 20,822,400 支払 20,822,400 |
| 技術棟等解体工事 (平成30年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 57,947,400 支払 37,057,400 |
| 技術棟廃棄物撤去工事 (平成30年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 2,700,000 支払 2,700,000 |
| 技術棟等解体工事に伴う電柱建替工事 (平成30年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 723,600 支払 723,600 |
| 駐輪場等整備工事 (平成30年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 83,425,680 支払 50,435,680 |
| 駐輪場等整備追加工事 (平成30年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 988,200 支払 988,200 |

| | | |
|--------------------------|-------------|--------------------------------|
| 空調設置工事 (平成 30 年度から繰越) | 東庄中学校 | 契約 82,500,000 支払 82,500,000 |
| 仮設エアコン設置工事 | 神代小学校 | 533,520 |
| 仮設エアコン設置工事 | 橘小学校 | 761,400 |
| 仮設エアコン設置工事 | 石出小学校 | 763,560 |
| 空調電源仮設配線工事 | 神代・橘・石出・東城小 | 1,166,400 |
| 樹木伐採及びフェンス工事 | 東庄小学校 | 4,434,100 |
| 北校舎大規模改修等工事 | 東庄小学校 | 236,658,400 |
| 1階廊下床張替工事 | 東庄中学校 | 1,190,000 |
| 備品移設工事 | 東庄小学校 | 3,135,000 |
| 駐輪場等整備付帯工事 | 東庄中学校 | 1,177,000 |
| 通学バス乗降場等工事 | 東庄小学校 | 31,768,000 |
| 体育館舞台幕取替工事 | 東庄小学校 | 894,300 |
| 樹木伐採工事(台風15号) | 笹川小学校 | 502,700 |
| 天井防カビ剤塗装工事(台風15号) | 東庄中学校 | 693,000 |
| 東門門扉取替工事 | 東庄小学校 | 2,695,000 |
| 駐輪場災害復旧工事(台風15号) | 東庄中学校 | 4,383,500 |
| 駐輪場転倒防止工事 | 東庄中学校 | 918,500 |
| 屋内運動場放送設備更新工事 | 東庄小学校 | 3,025,000 |
| インターホン設備入替工事 | 東庄小学校 | 9,020,000 |
| 大規模改修追加工事 | 東庄小学校 | 814,000 |
| プール給水管設置工事 | 東庄小学校 | 781,000 |
| 樹木伐採工事 | こども園 | 540,000 |

| | |
|------|--|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | <p>教育施策については、千葉県教育委員会が提示した「平成31年度学校教育指導の指針」に基づいて実施した。</p> <p>小学校外国語及び外国語活動では、実施する時間全てに日本人英語講師を配置し、学級担任を主としながら、児童が外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養えるようにした。また、1～2年生についても外国人講師（ALT）を派遣し発達段階に応じて外国語や外国の文化に親しめるようにした。</p> <p>指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける取組を行なった。教育事務所の指導室訪問、管理課訪問、各校からの要請等に応じての学校訪問を実施し、教育課程の実施状況を確認し、協議・指導を通して学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり、学校づくりを図った。また、教職員の勤務の状況についても確認し、不祥事根絶、働き方改革への取組、ストレスチェックの実施等を含め、適切なサービス、職場環境の改善が行われるように指導を行った。</p> <p>全教職員を対象とした夏季研修会（プログラミング教育・Q-Uテストの結果活用）を実施し、各校の向上を図った。今後、1小学校・1中学校となり実施方法や内容について、改善を図る必要がある。</p> <p>幼・小、小・中の連携を強化し、スムーズな進学ができるように交流活動をより多く取り入れた。幼稚園児の小学校訪問や運動会での交流、教員がお互いの授業、活動参観を行い意見や情報交換をすることにより園児が小学校について知り、園児と児童が互いに知り合えるようにすることができた。小学校6年生は中学校体験を実施した。中学校での生活や学習活動、部活動に触れ、疑問や不安の解消を図るとともに、中学校入学への意欲、心構えを作れるようにした。</p> <p>増加傾向である不登校児童生徒に対し、集団生活への適応力の向上を図り、在籍する学校へ自信を持って復帰できるよう、</p> |

関係機関との連携を密にし、支援の方向性について共通理解を図っている。また、今年度からスクールカウンセラーを小学校に配置し相談体制の一層の充実・強化を図った。

安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成するため、各校において、危機管理マニュアル等について再度確認し、地震等の緊急時に安全な対応ができるようにするとともに、避難訓練を定期的に実施した。通学路の合同点検や、スクールバス運行に向けての乗降場所の決定・安全走行の確認・対策など関係機関と協議を行った。

児童生徒が生命について理解し、健全で自律した行動がとれるように、保護者を含めた関係者が連携し、児童・生徒・保護者・関係者の意識を高め、発達段階に応じた思春期講演会を行う等、思春期保健体制づくりを目指した。12月にはいじめ防止等のための基本方針を定めた。

計画的な就学指導の実施については、特別支援学校コーディネータを依頼し幼保・学校・健康福祉課との連携を密にし、早期からの計画的な就学指導を実施し、一人ひとり、適切な就学指導の実現に努めた。また、特別に支援を要する児童には介助員や学習支援員、言語指導員を配置し、個のニーズに応じた支援を行うことにより、一人ひとりの個性・能力が適切に伸びていけるように配慮した。

「東庄町立小学校統合計画」に基づき、東庄町立小学校統合全体会議、及び作業部会を開催した。最終年度となり子細な部分での協議調整、教育環境の整備を行った。昨年度に引き続き児童交流事業も実施し統合への不安感を除いた。

認定こども園は4月からスタートし、順調に運営できている。社会環境の変化等に伴い子育て環境も多様化しておりその中の新たな課題も発生している。総合的に対応できる教員を目指し研修等実施したい。

新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年3月2日から小・中学校を臨時休業とした。それに伴い各種行事の見直しや、

| |
|--------------|
| 中止・縮小措置をとった。 |
|--------------|

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
C 課題が生じ目標達成は困難である

Ⅲ 生涯学習

1 教育施策

- 誰でも生涯学習に参加し、いつでも学ぶことのできる環境づくり
- 多様な価値観にあわせた生涯学習の機会の提供

(1) 青少年の健全育成

子どもたちの地域への愛着と誇りを育み、地域社会の一員としての自覚を高めるため、地域学習を推進する。

多くの子どもたちが興味をもって参加できる事業の開催や、子ども会活動などの青少年関係団体育成を図り、青少年の健全育成を推進する。

(2) 生涯学習推進体制の確立

住民のさまざまな学習意欲を満たす各種講座を積極的に開催するとともに、小・中学生の保護者を対象とした子育ての場として、家庭教育学級の充実を図る。また、公民館や図書館の利用促進により、生涯学習を推進する体制を構築する。

(3) スポーツ・レクリエーションの推進

競技としてのスポーツに取り組む子どもたちのために、スポーツ少年団などへの支援を行うとともに、町内のスポーツ施設や学校体育館などを活動の場として活用できるよう施設の整備を図る。また、町外からのスポーツ合宿による交流を推進する。

レクリエーションとしてのスポーツについては、住民の健康づくりやコミ

ユニティ醸成など、多様な効果が期待できる意義深いものであることから、関係団体などと連携しながら、誰でも気軽にできる軽スポーツの活動支援やイベント開催などを推進する。

(4) 芸術・文化活動の展開

文化協会や自主活動団体による芸術・文化活動を支援するとともに、成果を発表する場を設けることにより、活動の活発化を図る。そして、芸術・文化に関する意識を高揚し、地域文化の育成を進める。

(5) 文化財の保護と活用

文化財の調査・研究を推進し、郷土芸能などの無形民族文化財を維持していくため、後継者育成などの取組を進めていく。

文化財の保護と活用を図り、案内板の設置等によりPRを行うとともに、本町の歴史や文化財を次世代に伝承する手段として、観光ボランティアとの協働で史跡等を巡る活動などの取組を実施する。

2 本年度の重点目標

(1) 生涯学習の推進を図る。

子ども名作劇場の開催

青年サークルの立ち上げ

障害者の青年講座

スポーツ団体の強化

(2) 公民館活動の活性化を図る。

文化事業内容の検討

新しい講座の開設と自主団体の育成

(3) 社会教育施設の活用を図る。

公民館・公民館分館・図書館・宮野台運動公園・東城グラウンド・町民体育

館・スポーツ広場・弓道場の利用を促進するための予約システムを導入する。

(4) 図書館の利用促進を図る。

行政ポイントの付与

図書館だよりの発行

3 具体的な実践と協議内容

(1) 子どもまつり、各種スポーツ大会、町民運動会、文化祭、コジュリンマラソン大会等への参加促進

(2) 各講座における新規利用者の開拓

(3) 外部団体の自主運営の促進

(4) 中高生が参加できるイベントや講座等の開催

(5) 社会教育施設の老朽化に伴う整備

4 生涯学習の推進

(1) 実施事業

第45回東庄町文化祭 11月3日 公民館 入場者4,800人

コジュリン通学合宿 11月24日～26日 公民館 参加者14人

東庄町成人式 1月12日 公民館 該当者136人うち出席者105人

(2) 東庄町文化協会

定期総会 4月17日 公民館

会報「東庄文化」第35号 5月発行(4,700部)

文化のつどい 6月23日 公民館 参加者500人

(3) 東庄町子ども会育成連合会

定期総会 4月13日 公民館

第20回 子どもまつり 5月6日 公民館 入場者800人

子ども会キャンプ 6月8～9日 茨城県立さしま少年自然の家 参加者

63人

子どもスポーツ大会 10月20日 笹川小体育館 参加選手300人

(4) 東庄町杉の子サークル

総会 5月6日 公民館

クリスマス会 12月7日 公民館 参加者57人

(5) 東庄町青少年相談員連絡協議会

第20期委嘱式並びに総会 4月18日 公民館

環境美化活動 6月22日 町児童館

青少年のつどい子ども名作劇場「ピーターパンとウェンディ」 8月25日

公民館 入場者371人

青少年のつどい香取地区大会 2月15日 香取市民体育館 参加選手4

チーム 42人

(6) 東庄町社会教育委員会議

東庄町社会教育委員会議委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、令和元年9月15日より令和3年9月14日までの任期で15人を委嘱し、9月24日に議長・副議長を選出した。その後2月6日の第2回社会教育委員会議では、社会教育全般の計画等について審議した。

(7) 町補助金の交付

東庄町文化協会事業 250,000円

東庄町PTA連絡協議会事業 160,000円

東庄町子ども会育成連合会事業 95,000円

単位子ども会育成費(12団体) 180,000円

東庄町青少年相談員連絡協議会 350,000円

東庄町杉の子サークル育成会事業 60,000円

(8) 主な工事関係契約

| 工事名 | 工事場所 | 契約金額 (円) | 施工業者 |
|---------------|-------|-----------|-------------|
| 公民館正面玄関自動ドア交換 | 公民館 | 722,520 | ナブコシステム (株) |
| 公民館正面玄関軒天改修工事 | 公民館 | 2,640,000 | 石井工業 (株) |
| 町民体育館外壁補修工事 | 町民体育館 | 4,690,400 | 石井工業 (株) |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | <p>青少年の健全育成を図るための事業を展開し、多くの参加者があった。特に青少年のつどいは昨年までの大会を変更して、劇団による子ども名作劇場は新たな演劇鑑賞の機会と情操教育の場として提供できた。今後も、東庄町子ども会育成連合会、東庄町杉の子サークル・杉の子サークル育成会、東庄町青少年相談員連絡協議会等の団体が連携を図る場となるよう思案するとともに、その活動を支援する必要がある。</p> <p>第45回東庄町文化祭の開催では、ふれあいまつりの会場縮小のこともあり入場者は前回より若干減少したが、東庄町文化協会加盟団体が参加し、芸術・文化活動の推進が図られた。今後も、文化協会等の団体育成を図る必要がある。</p> |

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

5 東庄町公民館の運営

(1) 主催事業

少年講座 2 講座

- ① 子ども書道教室 3 3 回 (第 2・3・4 土曜日) 憩いの里・公民館
 受講者者 6 6 人 (新型コロナウイルス感染症対策により 3 月は自宅学習)
- ② 子ども絵画教室 1 7 回 公民館 受講者 1 6 人

親子講座 親子パン作り教室 1回 公民館 受講者9組

成人学級 8講座

- ① 生け花教室 14回 公民館 受講者9人
- ② 英会話教室 27回 公民館 受講者15人
- ③ ペン字教室 7回 公民館 受講者19人
- ④ 大人の書道教室 14回 公民館 受講者20人
- ⑤ 初心者向け料理教室 13回 公民館 受講者12人
- ⑥ かごあみ教室 3回 公民館 受講者11人
- ⑦ カラオケ教室 15回 公民館 受講者18人
- ⑧ 青年サークル 5回 公民館 受講者14人

高齢者教室 ことぶき大学 11回 受講者151人

家庭教育学級 各小・中学校6学級 全24回 受講者のべ627人

公民館まつり

2月29日 玉川奈々福 伊丹十三賞受賞記念公演 (新型コロナウイルス感染症対策により中止)

3月1日 公民館 (新型コロナウイルス感染症対策により中止)

(2) 公民館利用状況

東庄町公民館(本館)の利用人数は、26,734人(1,376団体)で、神代分館の利用人数は1,659人、石出分館の利用人数は413人となり、3館合計は28,806人、月平均2,401人であった。

(3) 東庄町公民館運営審議会

町公民館運営審議会委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、令和元年9月15日より令和3年9月14日までの任期中で15人を委嘱し、9月24日に委員長・副委員長を選出した。その後2月6日に第2回町公民

館運営審議会を開催し公民館事業等について審議した。

| | |
|------|---|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | <p>公民館主催講座は、子どもから高齢者まで対象を幅広く実施し、それぞれ意欲的な参加があった。神代分館は陶芸施設として、石出分館は図書の貸出しを行い、公民館本館と2分館の利用数は、平年並みであった。東城分館は放課後児童クラブ、子育て支援センターとして活用を図った。</p> <p>また今後の利用者の利便性や、利用促進するために公民館本館の予約システムを導入した。</p> <p>公民館定期利用団体は活発に活動し、公民館まつりで日頃の学習成果を発表する予定であった。前日には公民館まつりを盛り上げる企画として、昨年度に引き続き浪曲師の玉川奈々福さん、玉川太福さんの記念公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防により公民館まつり関係は全て中止となった。</p> <p>今後、分館を含めそれぞれの公民館の特性を生かした、新しい主催講座等を開設するなど、新規利用者や男性の利用促進等多様なニーズに対応した取組と、団体等の育成に努めることが必要である。</p> |

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる

C 課題が生じ目標達成は困難である

6 東庄町図書館の運営

(1) 実施事業

子ども読書の日スタンプラリー 4月14日～5月13日 参加者30人

子ども読書の日イベント「おはなし会」 5月6日 公民館 参加者23人

影絵芝居公演「けらら姫とガジャ」 5月6日 公民館 入場者49人

県立図書館巡回企画展「オリンピック・パラリンピック展」 9月26日～

10月24日

秋の読書スタンプラリー 10月18日～11月16日 参加者64人

図書館だより発行 2019年10月号

(2) 図書館利用状況

図書貸出し状況 児童貸出 5,585冊、一般貸出 9,240冊、
相互協力冊数 373冊、(合計15,994冊) 利用者は、5,365人

| 行政ポイント | | | | | |
|--------|------|------|----|------|------|
| 月 | 冊数 | ポイント | 月 | 冊数 | ポイント |
| 4 | 1135 | 5675 | 10 | 1280 | 6550 |
| 5 | 947 | 4735 | 11 | 1334 | 6820 |
| 6 | 839 | 4245 | 12 | 1062 | 5310 |
| 7 | 1228 | 6340 | 1 | 1072 | 5360 |
| 8 | 1532 | 7660 | 2 | 1105 | 5675 |
| 9 | 1194 | 6070 | 3 | 1205 | 6025 |

(3) 東庄町図書館協議会

町図書館協議会委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、令和元年9月15日より令和3年9月14日までの任期で15人を委嘱し、9月24日に委員長・副委員長を選出した。その後2月6日に第2回町図書館協議会を開催し図書館事業等について審議した。

(4) 図書購入費

図書館図書購入費は1,479,573円で、756冊の図書とDVD18本を購入した。

| | |
|------|--|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | 東庄町図書館と石出分館の2館で図書の貸出しを行っており、利用者の利便が図られている。図書購入予算も余すことなく支出し、書籍の充実を図った。また、子どもの読書週間と、秋の |

| | |
|--|--|
| | <p>読書週間にあわせて「読書スタンプラリー」の実施をし、返却者へのコジュリンポイントの発行など利用者がより読書に楽しめる機会を設けた。県内の図書館との貸出、借用を行う相互協力も充実してきている。</p> <p>今後、継続事業として、たんぼぼの会による「おはなし会」や、図書館だよりの発行を増やして、子どもの読書活動推進や利用者の拡大のための取組を継続していく必要がある。</p> |
|--|--|

- 評価指標： A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

7 文化財の保護

(1) 実施事業

歴史教室 6回 公民館 受講者のべ160人

歴史移動教室Ⅰ 6月7日 千葉市立加曾利貝塚博物館 参加者36人

歴史移動教室Ⅱ 9月20日 大原幽学記念館 参加者29人

「大友城址と平忠常」の案内板を設置

(2) 東庄町文化財審議会

町文化財審議会を11月20日に開催し、委員長・副委員長を選出した。

また、文化財案内看板等について審議した。

(3) 補助金の交付

東庄郷土史研究会事業 100,000円

笹川の神楽 100,000円

| | |
|------|--|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | <p>郷土の歴史・文化財等を学ぶ歴史教室を開催し、県内の歴史や文化遺産への関心と理解を深め、伝統に対する誇りと郷土愛の精神を養うことができた。</p> <p>「大友城址と平忠常」について案内板を設置して史跡を周知</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>し、また「笹川の神楽」の指定無形民俗文化財継承事業補助金の交付を行い無形民俗文化財の保存と継承を図った。</p> <p>郷土史研究会の協力で公民館郷土資料展示室で、「東庄町の石造物」「二十四孝彫刻写真の展示」を開催し、資料が広く一般に公開され、それぞれの様子について周知することができた。</p> <p>今後も、引き続き文化財の調査と保護体制の充実を図る必要がある。</p> |
|--|--|

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

8 スポーツ・レクリエーションの推進

(1) 大会や行事、主催教室の実施

第33回町民バスハイキング 5月20日 御岳山 参加者116人

第37回東庄町民ゴルフ大会 5月30日 東庄ゴルフ倶楽部 参加者73人

第20回東庄町民ヘルスバレーボール大会 6月16日 笹川小体育館
 参加18チーム135人

第38回東庄町民体育大会 7月7日 町民体育館他 参加選手199人

第58回東庄町町民運動会 10月13日 東庄中学校 (台風19号により中止)

第29回香取地区スポレク中央祭 11月10日 多古町民体育館 町代表選手33人

2019コジュリンマラソン大会 12月15日 参加選手366人
 主催教室

- ① 第1回スポーツ教室「親子で目指すスポーツ選手への道のり」 受講者25人
- ② 第2回スポーツ教室「ポッチャルール講習会」 受講者20人

- ③ らくらくフィットネス教室 14回 公民館 受講者23人
- ④ 健康体操教室 14回 公民館 受講者17人
- ⑤ 第3回スポーツ教室「少年少女スポーツ指導者講習会」(新型コロナウイルス感染症対策により来年度へ延期)

(2) 社会体育施設利用状況

宮野台運動公園野球場 利用人数 3,987人(168回数)

宮野台運動公園テニスコート 利用人数 2,278人(385回数)

東城グラウンド 利用人数 2,675人(97回数)

町民体育館 利用人数 9,990人(1,056回数)

スポーツ広場グラウンドゴルフ 利用人数 2,090人(208回数)

スポーツ広場弓道場 利用人数 1,573人 334日

(3) 東庄町体育協会

総会 4月27日 公民館

郡民体育大会に8競技実施及び出場、県民体育大会に4競技出場。

(4) 東庄町スポーツ推進委員会

第1回町スポーツ推進委員会を5月8日に開催し、以降9月24日、12月4日、1月29日の4回の会議で社会体育の指導・計画等について審議した。

(5) 東庄町スポーツ推進審議会

第1回町スポーツ推進審議会を7月12日に開催し、消費税の改定に伴う町スポーツ施設の使用料改定や、小・中学校施設開放の電気代改正、また第58回東庄町町民運動会実施計画について審議した。

令和元年9月15日より令和3年9月14日までの任期で15人を委嘱し、11月21日の第2回町スポーツ推進審議会にて委員長・副委員長を選

出した。その後、2月6日に第3回町スポーツ推進審議会を開催し、社会体育事業等について審議した。

(6) 東庄町スポーツ少年団

第2回町スポーツ少年団サッカー交流会（講師：鹿島アントラーズ 中田CRO）8月17日 東城グラウンド 参加児童70名・少年団コーチ10名
代表者会議 1月29日 公民館 5団体

(7) 2019 コジュリンマラソン大会実行委員会

会議を9月24日、12月4日、1月29日の3回開催し、円滑な大会運営が出来るように話しあった。

(8) 町補助金の交付

東庄町体育協会事業 500,000円

| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
|------|--|
| 評価所見 | <p>各種大会・行事等を開催し、スポーツ活動の推進、普及に取り組んでいる。また、健康づくりの4教室はどれも意欲的な参加であった。</p> <p>コジュリンマラソン大会については、元日本代表サッカー選手をゲストランナーとして招聘するなど、より一層のスポーツ活動の推進、普及に向けて関係団体の支援や協力により大会を運営していた。今後、閉校後の体育館利用も含めて町民へ運動の場を提供するために予約システムを導入し、利用者の利便性や利用促進を図る。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症対策による小中学校の休校に伴い、学校施設開放の3月中止や、町内での感染者確認を受けて全ての施設の利用中止などがあった。今後も新型コロナウイルス感染症予防での厳しい状況下ではあるが、対策を施し、各種大会・行事等についても充実を図るとともに、スポーツ少年団などによる青少年の健全育成を支援していく必要がある。</p> |

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

- B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
- C 課題が生じ目標達成は困難である

IV 学校給食センター

学校給食センターは、東庄町立小学校、中学校及びこども園の学校給食用物資の調達、調理、配送並びに学校給食費徴収その他必要な事務及び事業を行なった。

1. 学校給食センターの運営

(1) 主な取組み

日本人の食文化の中心となってきた米を中心とした食生活を再認識するために、正しい豊かな米飯のとり方を身につけさせることを目的として実施した。

学校給食は学校教育の一環であり、食に関する指導の充実を図る。栄養士による定期的な学校訪問等を実施した。

献立内容は、それぞれの栄養所要量に基づき四段階とし、栄養の確保に重点をおいて実施した。

食事内容は、必要とされる栄養量が満たされ、きめられた食材費の範囲の中で衛生的に安全で量的にも満足されるものとした。

地産地消(千産千消)による献立づくりを行った。

(2) 学校給食期間

1学期 4月9日から 7月18日

2学期 9月3日から12月20日

3学期 1月7日から 2月28日 (3月 臨時休校)

(3) こども園・小・中学校の学校給食数・日数

| 月 | 給食数(食) | 給食日数 | 一日平均食数 |
|----|--------|------|--------|
| 4月 | 14,221 | 14 | 1,016 |
| 5月 | 20,514 | 19 | 1,080 |

| | | | |
|-----|---------|-----|-------|
| 6月 | 22,209 | 20 | 1,110 |
| 7月 | 14,623 | 13 | 1,125 |
| 9月 | 15,487 | 15 | 1,032 |
| 10月 | 22,868 | 21 | 1,089 |
| 11月 | 21,568 | 20 | 1,078 |
| 12月 | 16,075 | 15 | 1,072 |
| 1月 | 19,434 | 18 | 1,080 |
| 2月 | 19,584 | 18 | 1,088 |
| 3月 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 186,583 | 173 | 1,079 |

(4) 学校給食費

こども園 日額260円 月額4,500円 ※年額45,000円

小学校 日額260円 月額4,500円 ※年額45,000円

中学校 日額289円 月額5,000円 ※年額50,000円

※年額 3月分給食費調定なし 今年度は10か月分

(5) 東庄町学校給食センター運営委員会

東庄町学校給食センター運営委員会を7月18日、2月25日の2回開催し、学校給食センターの運営状況・計画等について説明を行なった。また、新東庄町学校給食センター整備計画について説明を行なった。

(6) 新東庄町学校給食センター建設

建設・厨房設備設置工事及び工事監理業務委託契約・給食用備品の購入を行なった。建設関係業者と定期的に打合せを行い、令和2年9月稼働に向け事業を進めた。

| | |
|------|--|
| 総合評価 | A 目標達成に向けて順調に進んでいる |
| 評価所見 | <p>学校給食は、米飯給食を基本とし、地産地消(千産千消)による献立づくりの推進を図っている。</p> <p>食事内容は、必要とされる栄養量が満たされており、衛生的に安全で量的にも満足されるものが提供されている。</p> <p>今後も安全な学校給食実施のため、夏休み等を中心として職員の研修等への積極的な参加が望まれる。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>2回の東庄町学校給食センター運営委員会において、新給食センターの整備業況について説明があった。</p> <p>令和2年9月の新給食センター稼働に向けての準備の必要がある。</p> |
|--|--|

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
C 課題が生じ目標達成は困難である